



多・摩

八王子市

**「提案でできる設備屋」を目指し
環境トイレを全国へ展開**
(株) 大西設備

山岳や離島、キャンプ場や山小屋のトイレなど、下水道施設のないところでは、排水の処理が悩みのタネ。そこで注目されているのが、ろ過した水が半永久的に洗浄水として再利用できるという画期的な排水処理システム。

名付けてダブルクリーン。カキ殻をろ過剤に使い、独自の装置で排水を処理することで、ニオイも色もないキレイな水に再利用できるのだという。大西設備では昨年の10月から、このダブルクリーンの総販売元として全国展開をすすめている。

「水洗トイレが設置できないところでは、いまだに昔ながらの汲み取り式やコップ一杯程度の簡易水洗で我慢しているのが現状。排水の環境に与える負荷は大きい。ダブルクリーンなら、すぐれた浄化作用で下水道や放流先のない場所でも



「ダブルクリーンで日本の観光立国をサポートしたい」と下田社長



富士山登山道に設置されたダブルクリーンのトイレ

水洗トイレが設置できる」と代表取締役の下田勉さんは話す。実際、ダブルクリーンで再利用された処理水は「トイレ洗浄水だけでなく、花、木、庭の散水や非常用の水源などにも使える」ほどキレイに浄化されている。富士山の須走口登山道新五合目(標高2000m)の山小屋にも「ダブルクリーン」を使用した水洗トイレを設置。約1年間、水質の浄化性能などを測定したところ、BOD (Biochemical Oxygen Demand) が5ppm以下、都心部の水洗トイレよりも浄化されているそうだ。

おかげで現在は、吉田口登山道の9カ所に設置。これまで富士山はゴミとし尿による環境汚染が問題視されていたが、ダブルクリーンでし尿問題が改善され、今年の初めには世界遺産の暫定リストにも登

録された。現在、ダブルクリーンは、山小屋、公園のトイレをはじめ、一般住宅、ログハウス、寺院、飲食施設など、全国650カ所に設置されている。

「今後、こうした環境に配慮した排水システムは、自治体などからの関心が高くなる。観光地や公共施設向けに売り込んでいきたい」と下田さんは語る。

同社ではこのダブルクリーンを軸に、本業の排水衛生設備・空調設備などの設備工事をのばしていきたいとしている。

「公共事業が減少するなか、提案型のビジネスができなければ設備屋は生き残っていけない」と。将来はダブルクリーンの技術を宇宙船にも活かしてみたい」と下田さんの夢は広がる。

社長のひとこと

社長の自社採点



QRコード対応のケータイ電話でご覧いただけます。

企画開発力★★★★★	人材力★★★★☆
営業力★★★★★	専門性★★★★★
成長力★★★★★	リサーチ力★★★★★
収益力★★★★★	計画性★★★★★
地域貢献力★★★★★	リスクマネジメント★★★★★

会社概要

本社：〒193-0802 東京都八王子市犬目町762-2
TEL: 0426-54-8460 / 設立86年 / 資本1000万円
http://www.ohnishisetsubi.com/